

Organizing Committee 主催会議等

1. IOC/IUGG International Tsunami Symposium ' 93, Wakayama ,23-27 August 1993.
2. International Conference on Environmentally Sound Water Resources Utilization, Ambassador Hotel, Bangkok, Thailand, 8-11 November, 1993
3. 29th IASPEI in Thessaloniki, Greece, 18-28 August 1997
4. Okushiri Tsunami/UJNR Workshop 1998, Sapporo and Okushiri, 9-14 July 1998
5. 土木学会第45回海岸工学講演会、実行委員
6. 1st Conference, Advances on Natural Hazards Mitigation, Experiences from Europe and Japan, 3-7 November 1999, Athens & Santorini, 運営委員, Sedimentological and Numerical Analysis on Minoan Tsunami
7. Hazards 2,000、自然・人為災害国際学会、徳島、実行委員, 21-25 May, 2000
8. ジョイントシンポジウム「これからの沿岸環境」、東京、実行委員、平成12年7月4日
9. Workshop on sedimentological study for historical tsunamis,平成12年8月25、26日
10. HAZARDS 2002 SYMPOSIUM NINTH INTERNATIONAL SYMPOSIUM ON NATURAL AND HUMAN-MADE HAZARDS Disaster Mitigation in The Perspective of the New Millennium 3-6 October 2002, Antalya, Turkey, INTERNATIONAL SCIENTIFIC COMMITTEE
11. The 8th International Conference on Computers in urban Planning and urban management, 27 (Tue) - 29 (Thu) May, 2003, Sendai
12. 土木学会第52回海岸工学講演会、青森市、実行委員、平成17年11月8-11日
13. 日本自然災害学会、東北大学、仙台市、実行委員、平成17年11月17-18日
14. 3rd Coastal Zone Asia Pacific (CZAP) Conference 2006, 27 August - 1 September 2006, Batam, Indonesia
- 15.

Chairman, Convener 座長など

1. International Tsunami Symposium in Wakayama, 23-25 August, 1993
2. 29th IASPEI in Thessaloniki, Greece, 18-28 August 1997
3. Asia-Pacific Workshop on Research collaboration for Urban Earthquake Disaster Management, 9-11 March, 1998
4. 7th Int. Conference on Natural and Man-made hazards 1998, Chania, Greece, 20-25 May 1998, Study on historical tsunamis caused by the volcanic eruptions in the Aegean sea
5. 1998 AGU fall meeting, special session of the 1998 Papua New Guinea earthquake and tsunami, 6 December 1998, Field survey on the tsunami of the 1998 Papua New Guinea and its damage
6. 1999 IUGG international conference, Birmingham UK, Session” tsunami generation and

- seismotectonics, IUGG tsunami commission 29-30 July 1999. Modeling for tsunami generated by landsliding
7. 2000 Western Pacific Geophysics Meeting, Tokyo, June 27-30, 2000 (Tuesday-Friday) Tokyo, Japan, S5, The 1998 Papua New Guinea earthquake and tsunami (joint with OS,T) Conveners: Fumihiko Imamura (Tohoku Univ.),
 8. 12th APD-IAHR congress, 13-16 November 2000. Coastal Engineering
 9. ITS 2001 MAIN SCIENCE SESSIONS, UW, Seattle, August 8 and 9, 2001, PNG AND RECENT TSUNAMIS
 10. International workshop on tsunami risk and its reduction in the Asia-Pacific region (TRIRAP), Bandung, Indonesia, 18-19 March, 2002
 11. The 8th Internatinal Conference on Computers in urban Planning and urban management, 27 (Tue) - 29 (Thu) May, 2003, Sendai, Safety/Health Care
 12. 国際地球物理測地学会, IUGG SAPPORO, July9-13 2002
 13. 第29回海洋開発シンポジウム 特別セッション s-1 沿岸防災—来るべき大地震, 津波に備えて—セッションオーガナイザー, 2004.7.7
 14. 第51回海岸工学講演会 前日シンポジウム「安全な海岸利用に向けて」, 2004.11.13
 15. 第30回海洋開発シンポジウム 特別セッション沿岸防災—復旧から津波防災都市へ—セッションオーガナイザー, 2005.7.10
 16. 第3回, ASPACE2005(Asia and Pacific Coastal Engineering), 津波セッション, 特別セッション, チェアマン韓国 Jeju 島
 17. International workshop on the restoration program for the 2004 Giant earthquake and tsunamis, December 14-17, 2005 Zenryoren Bldg., セッションチェアマン
 18. International workshop on recent Developments in Tsunami modeling, Alfred-Wegener Institute, AWI, Bremerhaven, Germany, April 25-27 2007
 - 19.

Invited Lecture 国内招待講演など

国内

1. 1992年2月4日、「津波の数値予報」気象講演会、気象庁本庁
2. 1996年7月29-31日、キーノート講義、津波の数値シミュレーションと可視化技術、第一回環境流体シンポジウム、工学院大学
3. 1996年9月12日、気象庁管区防災業務研修、津波の数値シミュレーションについて、仙台管区気象台
4. 1998年1月19,20日、招待講演、A network model with link-node route system for tsunami evacuation - A case of Aomori, Okushiri in 1993 -, Int. Workshop on Tsunami Disaster Mitigation, Tokyo ,気象庁東京
5. 1998年2月24日、招待講演、最近の世界における津波災害、東海・東南海・南海津波研究会、大阪科学技術センター大ホール
6. 1998年3月4-5日、招待講演、津波の可視化、ワークショップ「災害を観る」、京大会館
7. 1998年5月29日、日本気象協会、技術研修会講師、津波の量的予報に関する注意点、東京都池袋
8. 1998年7月4日、若手地震工学研究会、奥尻津波が残した課題とその解決に向けての動き、函館市
9. 1998年7月23日、高知県、津波対策委員会、高知市
10. 1998年7月28日、沿岸海洋開発センター、招待講演、東京都
11. 1998年9月4日、宮城県、防災気象フォーラム、地域津波防災のための情報の役割とネットワーク化- 津波から命を守る知恵- 、気仙沼市
12. 1999年1月19日、科学技術庁主催、地震予知振興会後援、国際シンポジウム「南海トラフの巨大地震- 次の南海地震にいかにかに備えるか-」、高知市
13. 2000年5月28日、志津川町「何をチリ地震津波から学び、如何に活かすか？」
14. 2001年9月8日、歴史地震研究会「津波について知っておくべきこと」、秋田県象潟
15. 2001年9月26日、気仙沼商工会議所、市民防災セミナー「it's タイミング」
16. 2002年2月14日、国土交通省東北整備局、IT技術セミナー講師、三陸沿岸域津波防災システム
17. 2002年2月15日、(財)震災予防協会、震災予防協会講演会「東海地震を考える」
18. 2002年4月18日、岩手県議会・環境防災委員会、TIMING津波情報システム
19. 2002年6月11日、上智大学理工学部総合講座、「ビジュアライゼーション津波の可視化について」
20. 2002年6月11日、仙台市福室小学校、地域FM 小学生を対象とした防災講義、「地震と津波について」
21. 2002年6月14日、人と防災未来センター、「津波情報システム」
22. 2002年6月24日、東京工業大学大学院総合理工学研究科 総合科目C、「災害と情報」
23. 2002年8月24日、「津波って何？疑問にお答えします。」、伊東市史講座、第2回
24. 2002年9月7日、「津波と地域防災」、地域防災シンポジウム、徳島県小松島市

25. 2002年9月25日, 「東海, 東南海, 南海地震 必ずくる巨大地震に我々はどうか対処するか」, 土木学会平成14年度全国大会, 研究討論会, 地震工学委員会主催
26. 2002年10月1日, 「津波(自然科学・災害科学)」, 災害対策専門研修講義, 人と防災未来研究センター
27. 2002年10月31日, 「津波と地域・企業防災について」, オールJR東海安全推進会議, 基調講演
28. 2002年11月26日, 「津波(自然科学・災害科学)」, 災害対策専門研修講義, 人と防災未来研究センター
29. 2002年12月12日, 「新しい地震津波情報と被害推定の動き」, 日立T0研究発表会, 招待講演
30. 2003年1月16日, 「津波災害にどう備えるのかーその予測と対策」, 北淡活断層シンポジウム2003, 北淡町, 招待講演
31. 2003年4月25日, 福岡市防災講演会, 「東南海・南海地震による津波被害と地域防災」
32. 2003年6月6日, 「災害予防と住民参加ー宮城県沖地震に備えよう」, 防災シンポジウム, 国土交通省東北地方整備局, パネリスト, 仙台市
33. 2003年7月17日, 国土交通省東北地方整備局管内技術研究発表会, 特別講演「宮城県沖地震・津波と地域防災」
34. 2003年8月16日, 国立科学博物館, 地震の科学シリーズ特別講演, 「津波シミュレーションと被害予測 津波の人的被害は避けられる」, 東京上野
35. 2003年8月17日, 歴史民族博物館, 講演会及びギャラリートーク
36. 2003年9月11日, 第二管区海上保安本部, 水路記念日講演会, 三陸での地震と津波一命を守る情報とは?-, 塩竈市
37. 2003年9月12日, 津波防災フォーラム, 津波防災対策と住民への情報伝達のあり方について, 秋田県生涯学習センター
38. 2003年9月14日, 歴史民族博物館, 歴博研究集会, 歴史が伝える災害像・科学が開く防災力
39. 2003年9月26日, 消防科学総合センター, 防災安全中央研修会, 津波発生のメカニズムと対策
40. 2003年10月18日, 仙台気象予報協会, 仙台メディアテーク, 招待講演, 宮城県沖地震・津波と地域防災一命を守る情報とは?-
41. 2003年11月6日, 全国海岸事業促進連合協議会, JAビル, JAホール, 第7回海岸シンポジウム, 基調講演, 津波災害と地域防災
42. 2003年11月17日, (社)日本埋立浚渫協会関東支部主催, 平成15年第2回港湾工事安全衛生環境研修会, 地震発生による津波の被害予測と避難
43. 2003年11月21日, 文科省・北海道主催, 地震・防災セミナー, とちぎレインボーホール, 十勝沖地震津波の教訓と地域防災
44. 2003年12月2日, 仙台技術士会, 津波災害と地域の防災,
45. 2003年12月8日, 名古屋大学防災対策室, マスメディアと研究者のための地震災害に関する懇話会, 津波災害と地域の防災.

46. 2003年12月11日,宮城県港湾議員連盟勉強会,港湾における津波対策について,ホテル仙台プラザ.
47. 2004年1月15日,岩手県議会,暮らしの安全・安心対策特別委員会,講師,津波被害と地域防災
48. 2004年2月6日,文科省・三重県主催,地震に関するセミナー,三重県総合文化センター中ホール,東海・東南海・南海地震津波一津波,避難,地域防災
49. 2004年2月12日,宮城県防災会議幹事会,第3次地震被害想定調査について
50. 2004年3月3日,原子力研究所CCSEセミナー,津波防災と数値シミュレーション,東京
51. 2004年3月7日,防災講演会,最近の地震・津波の活動と地域防災,気仙沼・本吉地域広域防災センター
52. 2004年3月12日,第5回地震災害マネジメントセミナー-GISを利用した地震防災情報管理の最前線,災害情報の可能性と課題一津波を例として一,東京(中央大学駿河台校)
53. 2004年3月17日,宮城県議会大規模地震対策調査特別委員会,最近の地震津波の活動と防災対策,宮城県議会庁舎
54. 2004年3月19日,NHK地震・津波緊急報道研究会,気象・災害センター,アナウンス室
55. 2004年4月23日,非常通信協議会総会招待講演,災害情報と地域防災一津波を事例として一
56. 2004年5月13日,津波予測の今後,21世紀の海洋災害に向き合う,海洋理工学会平成16年度春季シンポジウム
57. 2004年5月23日,地震・津波防災シンポジウム,特別講演,気仙沼市
58. 2004年6月18日,五洋建設東北支店安全衛生環境推進大会,特別講演,仙台市
59. 2004年6月22日,総合防災セミナー,防災士研修セミナー,「津波のしくみと被害」,東京
60. 2004年6月25日,東南海地震60周年津波講演会,熊野市
61. 2004年7月7日,第29回海洋開発シンポジウム,特別セッション「来るべき大地震,津波に備えて」,沖縄コンベンションセンター
62. 2004年7月20日,原子力耐震計算科学特別委員会講演「津波防災へのITBLの活用」,日本原子力研究所計算科学技術推進センター
63. 2004年7月31日,東北大工学部オープンキャンパス公開シンポジウム「いま,そこに潜む危機,自然と上手につきあうために」,工学部大会議室
64. 2004年8月7日,みやぎ県民大学・学校開放講座「津波災害と防災」,気仙沼市県が浦高等学校
65. 2004年8月7日,気仙沼市教育講演会,「津波の発生と被害」,気仙沼市中央公民会館
66. 2004年8月25日,みなとの防災講演会一阪神・淡路大震災に学ぶ一,宮城県沖地震の脅威,地域における防災対策について,仙台サンプラザ,東北整備局
67. 2004年8月27日,道路防災講演会,津波の発生メカニズムと被害,ホテルポールスター札幌,北海道開発局,北海道,札幌市
68. 2004年8月29日,道路防災講演会,津波による被害と地域防災,ホテル観洋,東北整備局,宮城県,気仙沼市
69. 2004年9月5日,地震防災講演会,地震津波による被害と防災,三重県志摩町文化会館 大ホー

ル

70. 2004年9月22日, 多賀城市地域防災リーダー育成講座, 地域型ハザードマップ作成手法, 多賀城市役所
71. 2004年9月28日, 宮城県土木部特別講演会, 今後の地震津波対策について, 宮城県庁行政庁舎2階講堂
72. 2004年9月29日, 浜の防災講演会, 地震津波災害と防災, セキ浜国際村大ホール
73. 2004年10月3日, 防災士研修会, 自然災害と地域防災, 仙台市, 防災士研修センター
74. 2004年11月25日, 土木学会東北支部, 宮城県沖地震シンポジウム, 宮城県庁講堂, コーディネーター
75. 2004年11月29日, 第5回ITBLシンポジウム, 日本科学未来館, 津波防災におけるITBLの利用
76. 2004年12月02日, 高圧ガス保安協会, 兵庫県南部地震を経験して10年が経ち地震防災対策の発展をかえりみて, 津波に関する調査と研究の現状, タワーホール船堀
77. 2004年12月20日, 平成16年度防災教育指導者研修会, 講演, 宮城県庁講堂
78. 2005年1月19日, 海岸シンポ(海岸防災協会, 海岸関係省庁), コーディネーター, 神戸国際会議場
79. 2005年1月25日, 地震・防災セミナー(文科省・沖縄県), 沖縄県庁4階講堂(津波災害と地域防災)
80. 2005年1月26日, 第54回理論応用力学講演会, パネルディスカッション・モデレータ, 防災・危機管理の計算力学, 日本学術会議, 東京六本木
81. 2005年2月1日, 防災講演会「津波の脅威, 対策をどうするか!」, 仙台国際センター大ホール
82. 2005年3月13日, 東北大学留学生協会チャリティー・イーブニング, 東北大学国際交流会館A棟ロビー
83. 2005年3月15日, 地域防災講演会, 地震・津波の災害と地域防災, 宮城県志津川町・歌津町・女川町
84. 2005年3月18日, 津波に対する地域の防災力, 茨城県自主防災組織リーダー研修会, ひたちなか市福祉センター
85. 2005年4月16日, 地震津波の災害と地域防災, 宮城県小児科医会総会, 陽グランドホテル,
86. 2005年4月20日, Tsunami disaster and their mitigation, IPU(各国議会の世界的連合組織)ASEAN+3東京会議, ワーキングランチ講演, キャピタル東急ホテル
87. 2005年4月22日, 今こそ!地域防災のマップ作成をインド洋大津波から宮城での防災を考える, 仙台調停協会定期総会講演会, 仙台エクセルホテル東急
88. 2005年5月22日, 地球惑星合同大会, アウトリーチ講演会, 特別企画;スマトラ沖地震とインド洋大津波, 千葉県幕張メッセコンベンションホールB
89. 2005年6月1日, 気象庁地震・津波フォーラム, 第130回気象記念日, インド洋大津波から学ぶ, 飯野ホール, 東京

90. 2005年7月2日, みなとと地震・津波防災シンポジウム, 中部整備局・静岡県・沼津市, グランドティアラスマツ, 静岡県沼津市
91. 2005年7月14日, 講演会「津波を知って, 津波に備える」, 北海道開発局主催, 釧路市生涯学習センター
92. 2005年7月27日, 第32回海洋工学パネル「津波や地震の破壊力の実態 --- スマトラ沖地震を例にして」, 日本海洋工学会, 日本大学駿河台校舎 1号館大会議室
93. 2005年8月8日, 平成17年度 自主防災組織等支援事業「地域防災リーダー養成講座」, 宮城県七ヶ浜町防災対策室
94. 2005年8月19日, 平成17年度 防災教育管理者等研修会, 「地震津波の被害と地域防災」, 宮城県教育委員会, 宮城県庁大講堂
95. 2005年8月25日, 平成17年度みなとの防災講演会, 「港湾の防災ー最近の津波災害を教訓として」, 東北整備局塩釜港湾・空港整備事務所, 仙台サンプラザ
96. 2005年9月3日, 防災フェア防災講演会「日本海溝での津波被害と対策」, 仙台アエル
97. 2005年9月10日, 亘理郡医師会公開講座「地震津波の被害と地域防災」, 山元町中央公民館
98. 2005年10月7日, 招待講演, ターボ機械協会, 第53回講演会(仙台)
99. 2005年10月22日, 平成17年度留学生のための地震防災セミナー, 東大地震研
100. 2005年10月24日, 招待講演, 名古屋大学工学研究科, 災害と復興の科学
101. 2005年11月12日, 基調講演, 土木学会東北支部, みんなで高めよう地域防災力, 地震・津波災害に備えた地域防災のあり方
102. 2005年11月14日, 海岸シンポ(海岸防災協会, 海岸関係省庁), パネリスト, 東京海運倶楽部
103. 2005年11月29日, まちだ市民大学, 国際学ースマトラ沖地震にみる国際協力の課題と現状, スマトラ沖地大地震とインド洋大津波の被害と課題, 町田市森野分庁舎4階
104. 2005年12月9日, 土木学会関東支部座談会防災シリーズ, 東京
105. 2006年1月13日, 宮城県議会, 地震防災対策特別委員会, 講師, 地震・津波被害と地域防災
106. 2006年1月19日, 岩手県議会, 防災対策特別委員会, 講師, 地震・津波被害と地域防災
107. 2006年2月10日, 日本集団災害医学会総会, スマトラ地震・インド洋津波; 1年後の教訓シンポジウム, 仙台国際センター
108. 2006年2月19日, 防災士研修講座, 津波のしくみと被害, ハーネル仙台, 防災士研修センター
109. 2006年2月23日, 仙台商工会議所交通運輸部会講演, 予測される大規模地震・津波への対策について, 仙台商工会議所大会議室
110. 2006年5月2日, 宮城県本吉町教育研究会, 招待講演, 地震・津波の被害と教職員の対策
111. 2006年5月9日, 沿岸技術センター(CDIT)シンポジウム in 高知, 基調講演, 地震・津波の災害と地域での防災力ー2004年インド洋大津波を教訓として

112. 2006年5月12日, 宮城県高等学校理科研究会総会, 講演, 自然災害を知りぬく力を涵養するために
113. 2006年5月27日, 内閣府タウンミーティング「地震への対策を考える タウンミーティング イン 仙台」, 仙台サンフェスタ
114. 2006年8月2日, 東北大学百周年記念シンポジウム, 第6回, 文明の危機とグローバルコミュニティの再生, 地球規模大災害と国際協力- インド洋津波から見えるもの-
115. 2006年8月18日, FNN 防災会議, 基調講演, 仙台放送
116. 2006年8月25日, 新基礎技術フォーラム, 大林組東京本社
117. 2006年9月17日, 第23回歴史地震研究会, 公開フォーラム, 三陸の津波と防災
118. 2006年9月20日, 明日の海岸を考えるシンポジウム in 宮城- 安全・安心で美しいみやぎの海岸をめざして, 仙台市戦災復興記念館記念ホール
119. 2006年10月12日, 国際港湾協会 (IAPH) 常任理事会開催記念国際シンポジウム, 基調講演「みなとの防災-津波・高潮に備えて」, 静岡県コンベンションアーツセンター
120. 2006年10月17日, のびゆく三陸 輝く未来へ, 緑と潮風のリアス・ハイウェイ早期実現 宮古大会, 基調講演, グリーンピア田老
121. 2006年10月14日, 国際協力セミナー, 招待講演, 仙台メディアテーク
122. 2006年10月27日, 仙台市建設技術協会設立35周年記念特別講演会, 仙台市8階ホール
123. 2006年10月29日, 平成18年度東北歴史博物館開放講座, 講堂, 地震・津波の災害と避難行動
124. 2006年10月31日, いま考える みなとまち釧路での津波防災, 招待講演「地震・津波の災害と地域での防災力」, 釧路市交流プラザさいわい
125. 2006年11月1日, 地震学会, 地域防災の新展開, 招待スピーチ, 名古屋国際会議場
126. 2006年11月5日, 第12回 地震工学シンポジウム, 招待パネル討論会「スマトラ地震津浪災害の教訓」, 東工大大岡山デジタル多目的ホール
127. 2006年11月9日, 国土形成計画シンポジウム-新しい時代・東北の未来を考える, パネリスト, 国土交通省, ホテルメトロポリタン仙台
128. 2006年11月18日, 津波防災シンポジウム, 土木学会海岸工学委員会, 徳島県阿南市市民会館
129. 2006年11月27日, 東北経済連合会評議会講演, 仙台国際ホテル
130. 2006年12月16日, 東北地区高等学校物理教育研究会, 第44回, 仙台二高
131. 2007年3月8日, 仙台市防災安全協会宮城野地区防災講演会, 仙台サンプラザ
132. 2007年3月11日, 平成18年度 第一回東北SSH 指定校3校合同発表会及び第6回水ものがたり研究会, 特別講演
133. 2007年3月14日, 防災行政無線セミナー-安全・安心して住める郷土のために-, 招待講演, ホテル仙台プラザ
134. 2007年5月12日, 日本防災士会宮城県支部設立総会, 基調講演「最近の地震・津波被害

の実態とそこからの教訓」仙台アエルビル

135. 2007年5月26日, 津波防災シンポジウム, 基調講演, 宮城県主催, 気仙沼市中央公民館
136. 2007年6月4日, 全国危険物安全大会, 記念講演, 全国安全物安全協会, スクワール麴町
137. 2007年6月7日, (社)宮城県情報サービス産業協会, 記念講演会, パレスへいあん, 仙台
- 138.

国際学会での招待講演など

1. 1992年8月10日: 韓国海洋工学学会 Annual meeting of Korea Society of Coastal and Ocean Engineering, Numerical simulation for currents and sedimentation due to Tsunami, g.
2. 1994年10月11日, 19th annual convention of Indonesia Association of Geophysicist (PIT-HAGI XIX) "Tsunamis, generation, propagation and mitigation" in ITB.
3. 1995年2月7日 Seminar on Kobe earthquake disaster and its mitigation, A civil engineering perspective, at AIT Auditorium, AIT Center
4. 1995年2月22日 Seminar in Civil Engineering in Chulalongkorn University, Bangkok, "Protection work on the coastal area in Japan".
5. 1995年4月11-12日, Seminar on Disaster Mitigation for Sunda Starits, Sunda Straits Tsunami 1883 and possibility on the future, BPPT(Badan Pengkajian Dan Penerapan Teknologi), The agency for assessment and application of technology.
6. 1995年9月12-17日 Int. Long Wave Run-up Workshop, Friday Harbor, "Review of tsunami simulation with a finite difference method"
7. 1995年11月27日 Invited Speaker, Tsunami modeling and its application for coastal zone development, "Utilization of numerical simulation to mitigate tsunami disaster".
8. 1996年11月18日, 特別講義, Technology for Tsunami Disaster Prevention, Tsunami Research Center, Coastal Eng.Lab (BPPT), Yogyakarta.
9. 1997年11月26日、招待講演、Tsunami Modeling and Prevention, Inst. Technology of Surabaya, Surabaya, Indonesia
10. 1998年3月21-22日、招待講演、Int. Workshop of Bathymetry Workshop, Resolution of spatial grid size for numerical simulation of tsunamis, Seattle, University of Washington.
11. 1998年4月4,5日, Seismology and Tsunamis, 集中講義, Seismic Risk Assessments and Aseismic Design of Structures, AIT, Thailand.
12. 1998年4月4日, Research on TSUNAMIS from Scientific and Engineering point of views, 招待講義, Ransit University, Bangkok, Thailand.

13. 1998年10月27日, Tsunami Prevention Work, Korea Meteorological Agency.
14. 1999年10月25-27日, Int. Meeting of Co-ordination Group for the Tsunami Warning System in the Pacific, Korean Meteorological Agency. Progress on the TIME project and future plan
15. 1999年11月3-7日 1st Conference, Advances on Natural Hazards Mitigation, Experiences from Europe and Japan, 3-7 November 1999, Athens & Santorini, Sedimentological and Numerical Analysis on Minoan Tsunami
16. 2000年3月1-2日, 2nd Multi-lateral Workshop on development of earthquake and tsunami disaster mitigation technologies and their integration for the Asia-Pacific region, Analysis on the tsunami caused by the 1999 Kocaeli earthquake
17. 2001年2月12日, The tsunami workshop, Recent tsunami research activities in Japan, Meeting at KEERC, Seoul National University
18. 2002年5月23日, University of Alaska, Fairbanks(UAF), Recent topics of Tsunami Research in Japan
19. 2002年5月28日, 東北大・ワシントン大創造工学共同研修・平成13年度合同発表会, ワシントン大学.
20. 2002年10月3日, キーノート講演, Research for Tsunami Disaster reduction in Japan - Past, Present & Future, HAZARDS 2002 SYMPOSIUM NINTH INTERNATIONAL SYMPOSIUM ON NATURAL AND HUMAN-MADE HAZARDS Disaster Mitigation in The Perspective of the New Millennium 3-6 October 2002, Antalya, Turkey, INTERNATIONAL SCIENTIFIC COMMITTEE
21. 2003年8月22日, 招待講演, Evaluation of Tsunami Damage and Information System to Reduce Human Loss , *International Workshop on Natural Hazards in Coastal Areas*, Yokosuka.
22. 2003年10月25日, 招待講演, Tsunami research in Japan, Hanyang University, Korea.
23. 2004年11月1-2日, 招待講演, Geology and disaster reduction, University of Papua New Gunia
24. 2004年11月26日, 招待講演, Tsunami in Japan, 7th International Symposium on Imaging technology, Sendai , Japan
25. 2005年1月17,18日, 招待講演, International Workshop on Tsunami Disaster Mitigation in Kobe 2005, Kobe
26. 2005年1月19日, 招待パネリスト, Promotion of tsunami disaster mitigation in the Indian Ocean-*Towards establishment of tsunami early warning systems in the Indian Ocean by sharing experiences in the Pacific Ocean* Special Session in the World Conference on Disaster Reduction, kobe
27. 2005年3月3-8日, 招待講演, Predicting the damage ; tsunami risk assessment, International Coordination Meeting for the Development of a Tsunami Warning and Mitigation System for the Indian Ocean within a global framework, UNESCO/IOC, Paris
28. 2005年3月17日, 依頼講演 JICA 地域別研修, Damage by the 2004 Indian ocean tsunami and their lessons to mitigate future damage, Tokyo 世界銀行東京ラーニングセンター

29. 2005年3月29日, 依頼講演, The 2004 Indian ocean tsunami and 28 March, Earthquake committee, Ministry of Information and Communication Technology, Bangkok.
30. 2005年3月30日, 特別講演, The damage of the 2004 Indian ocean tsunami and their lessons to mitigate in the future, Asian Inst. Of Tech, Bangkok.
31. 2005年3月30日, 特別講演, The damage of the 2004 Indian ocean tsunami and their lessons to mitigate in the future, Nectec. Computing Research and Development Division National Electronics and Computer Technology Center 112 Thailand Science Park, Phahon yothin Rd. Klong 1, Klong Luang Pathumthani 12120, THAILAND
32. 2005年5月19日, 特別招待講演「津波の科学と防災」, インドネシア海洋水産省国際津波ワークショップ, ジャカルタ, Ministry of Marine affairs and Fisheries, Workshop and training, Tsunamis, their Science and management
33. 2005年9月27, 28日, 特別招待講演「Tsunami disaster」, APEC and Eqtap Seminar on earthquake and tsunami disaster reduction, Jakarta
34. 2005年10月24日, 基調講演, 地球規模の災害—2004年スマトラ沖地震インド洋津波の教訓, 第14回アジアにおける国土開発と土木技術に関する国際シンポジウム, 仙台国際センター Global disaster- Lessons from the 2004 Sumatra earthquake and Indian ocean tsunami, The 14th International Symposium on National Land Development and Civil Engineering in Asia, Sendai
35. 2006年1月10日, Tsunami recovery efforts; sharing knowledge and experiences “Tsunami warning Program and Disaster preparedness system, Keynote speech, Tokyo, Tokyo Development Learning Center (TDLC)
36. 2006年1月18-19日, 特別講演, The 2nd International Workshop on coastal Disaster Prevention - Tsunami and Storm Surge Disaster Mitigation-, Invited lecture, National Museum of Emerging and Science Innovation, Tokyo
37. 2006年3月7日, 招待講演, 3rd International Conf on Urban Earthquake Engineering, Yokohama, Tokyo Institute of Technology. Invited lecture on Global disaster due to the 2004 Indian Ocean tsunami
38. 2006年5月17日, Special lecture, National Workshop and training of tsunami disaster mitigation, Jakarta, Indonesia
39. 2006年5月22日, Special lecture, *Tsunami Research and mitigation in Japan*, Half-Day Seminar Role of University in Earthquake and Tsunami Research Development, Bandung Institute of Technology (ITB), Indonesia
40. 2006年8月27日, 招待講演, 国際堆積学会議 (International Sedimentology Council), 福岡国際会議場
41. 2006年9月28日, 特別講演, Tsunami disaster and countermeasure, Univ. of Moratuwa, Sri Lanka.

42. 2007年4月24日,招待講演, DFG-round table discussion in Hannover, Near and onshore Tsunami effects , Leibniz Universität Hannover und TU Braunschweig, Hannover, Germany, April 23-24 2007
43. 2007年4月25日,招待講演, International workshop on recent Developments in Tsunami modeling, Alfred-Wegener Institute, AWI, Bremerhaven, Germany, April 25-27 2007
44. 2007年4月27日,特別講演, ZMAW-DCRC(Japan) Workshop on tsunami modeling , IFM Hamburg University, Germany, April 27 2007
- 45.
- 46.

著書、その他

1. 今村文彦：津波の数値予報、測候時報, 59.3, pp.133-144, 1992.
2. 今村文彦(共著):遠地津波の教訓、今だから知りたい東海地震, 東海地震防災研究会, 静岡新聞社発行, pp.14-20, 1993
3. 今村文彦(共著):津波の発生・被害. 数値シミュレーション, 「自然災害と防災」学術新書, pp.126-140, 1995
4. F. Imamura(共編), Tsunamis: 1992-94, their Generation, Dynamics, and Hazards, Birhauser, September (ISBN 3-7643-5102-0) ,520p., 1995.
5. 今村文彦(共著):津波地震と巨大地震、1992年ニカラグアとフローレス、深尾良夫・石橋克彦編「阪神・淡路大震災と地震の予測」pp.363-369, 岩波書店(1996年8月27日発行)
6. 今村文彦(共著):津波はなぜ起こる?、「地震の科学」、パリティー編集委員会編、丸善(株)、pp.46-55。(1996年9月10日発行)
7. 今村文彦(共著):津波防災に向けて、流れの科学—生物から宇宙まで—、(社)日本機械学会編、技報堂出版、pp.57-62,(1997年9月10月)
8. 今村文彦(共著):地震防災の辞典、地震と津波、朝倉書店,2000, pp.276-295.
9. 今村文彦(共著):海岸施設設計便覧、津波対策施設、対策工法の選定、土木学会,2000, pp.367-373.
10. 今村文彦(共著):防災学ハンドブック, 京都大学防災研究所編集, 朝倉書店, pp.283-287, 2001.4
11. F. Imamura(共編), Landslide tsunamis: recent findings and research directions, Jean^Pierre Bardet, Costas E. Synolakis, Hugh L Davies, Fumihiko Imamura and Emile A. Okal, Birhauser, September (ISBN 3-7643-5102-0) ,428p., 2003.
12. 今村文彦:NHK CD-ROM・映像学習ライブラリーvol.4 災害の科学, 中学校理科第2分野, 2004
13. 金沢敏彦・今村文彦(共編):スマトラ沖地震とインド洋津波/2004, 月刊地球, 号外 No. 56,

234p., 2006.

14.

一般雑誌

1. Satake, K., J. Bourgeois, Abe, Ku, Ka. Abe, Y. Tsuji, F. Imamura, Y. Iio, H. Katao, E. Noguera and F. Estrada: Tsunami Field Survey of the 1992 Nicaragua earthquake, EOS, Transactions, AGU, Vol. 74, No. 13, p. 145 and pp. 156-157, 1993.
2. 今村文彦, 現在の津波研究とその課題- 1992年に発生した2つの津波を対象として-, 岩波書店「科学」, 8, 1993.
3. 今村文彦: 津波をとりまく最新の話題、水工学シリーズ、93-B-6, pp. B-6-1-16, 1993.
4. 今村文彦, フローレス津波の数値計算- 巨大津波の発生機構とその破壊力-, 月刊海洋「インドネシア・フローレス地震津波」, Vol. 25, No. 12, pp. 771-775, 1993.
5. 都司嘉宣, 今村文彦, 河田恵昭, 松富英夫, 武尾実, 伯野元彦, 渋谷純一, 松山昌史, 高橋智幸, 1992年インドネシア国フローレス地震津波, 月刊海洋「インドネシア・フローレス地震津波」, Vol. 25, No. 12, pp. 735-744, 1993.
6. 今村文彦、1992年インドネシア、フローレス島地震津波の被害、地震ジャーナル、16、pp. 44-50, 1993.
7. Yeh, H., F. Imamura, C. Synolakis, Y. Tsuji, P. Liu and S. Shi: The Flores island tsunamis, EOS, Transactions, AGU, Vol. 74, No. 33, pp. 371-373, 1993.
8. 今村文彦: 津波防災に向けて、「流れ」流体工学部門ニュースレター、No. 15, pp. 1-2, 1993.
9. 今村文彦: 津波はなぜ起こる?, Physical Science Magazine パリティ, 丸善出版, 3月号, pp. 4-8, 1994.
10. 今村文彦: 津波数値解析からみた津波地震の実態- 1992年ニカラグア津波-, 月刊地球「津波地震」, 海洋出版, Vol. 16, No. 2, pp. 97-103, 1994.
11. 今村文彦・高橋智幸・高橋武之: 地震断層は西下がりか東下がりか-津波データからの解釈-, 月刊海洋号外「北海道南西沖地震と津波」、海洋出版, No. 7, pp. 179-184, 1994.
12. Synolakis, C, F. Imamura, Y. Tsuji, H. Matsutomi, S. Tinti, B. Cook, Y. P. Chandra, and M. Usman: Damage, conditions of East Java Tsunami of 1994 analyzed, EOS, Transactions, AGU, Vol. 76, No. 26, p. 257 and pp. 261-262, 1995.
13. 箕浦幸治・今村文彦・高橋智幸・首藤伸夫: 地中海文明と津波, pp. 574-581, 最近地質時代の地球環境、月刊地球、vol. 19., No. 9. (No. 219), 1997年9月号
14. Imamura, F., D. Subandono, G. Watson, A. Moore, T. Takahashi, H. Matsutomi and R. Hidayat: Irian Jaya Earthquake and Tsunami causes serious damage, EOS, Transactions, AGU, Vol. 78, No. 19, p. 197 and pp. 201, 1997.
15. 今村文彦: 沿岸防災の行方、沿岸域(日本沿岸域学会雑誌)、Vol. 10, No. 1., pp. 55-57, 1997
16. 松澤暢・日野亮太・岡田知己・小菅正裕・今村文彦: 三陸沖地震予知総合観測計画、新地震予

知研究、月刊地球号外、No. 20., pp. 85-89. 1998

17. 今村文彦：「ハード」はもはや限界、人間の行動を視野に「ソフト」重視の対策を、特集「国際

18. 一、サイアス第3巻第7号通巻36号, pp. 50-52, 1998

今村文彦：15年間に於ける津波数値計算の発展と今後、月刊海洋号外「津波研究の最前線」, No. 15, pp. 89-98, 1998

19. 越村俊一・今村文彦・首藤伸夫：境界波の挙動特性に関する理論的研究、月刊海洋号外「津波研

20. .105-109, 1998

高橋智幸・首藤伸夫・浅井大輔・今村文彦：津波による土砂移動の実例とモデル化、月刊海洋号外「津波研究の最前線」, No. 15, pp. 147-152, 1998

21. Imamura, F.: The Sissano Tsunami caused by the earthquake in PNG and the riddle of its generation, Newsletter of Natural Hazards Society, Vol. 3, issue 4, September, 1998.

22. 今村文彦：パプアニューギニア・シッサノ津波の被害と発生メカニズム、土木学会誌、10月号、pp. 42-43, 1998.

23. 今村文彦：パプアニューギニア・シッサノ津波、点字サイエンス、17巻、第1号、No. 193, 1999

24. 今村文彦：1998年7月パプアニューギニア・シッサノ津波の現地調査から、海岸、第38巻、第2号、pp. 30-33, 1999.

25. 今村文彦：1998年7月パプアニューギニア津波被害、津波巨大化の原因は海底地滑り、近代消防、2月号特別増刊号カラーグラビア

26. Kawata, K, B. Benson, J. Borrero, J. Borrero, H. Davies, W. P. deLange, F. Imamura, H. Letz, J. Nott : Tsunami in Papua New Guinea was as intense as first thought, EOS, Transactions, AGU, Vol. 80, No. 9, pp. 101. 104-105, 1999.

27. 今村文彦：パプアニューギニア・シッサノ津波から分かったこと、地震ジャーナル6月号、27、pp. 8-17, 1999.

28. 今村文彦：津波の脅威、津波研究のフロントランナー日本、pp. 18-35、日経サイエンス8月号、1999.

29. 今村文彦編：アジア災害の地域性と変貌、土木学会誌、9月号、pp. 5-26, 1999

30. 今村文彦：堆積学的アプローチによる歴史津波の科学的検証ー古代文明滅亡のナゾに迫るー、土木学会誌、9月号、pp. 73-76, 1999.

31. 今村文彦：進化した津波情報を防災にどう活かすか？、pp. 20-29, 予防時報, No. 199, 1999.

32. 今村文彦・首藤伸夫：世界語になった TSUNAMI の研究・技術、土木学会誌、12月号、pp. 59-64, 2000.

33. 今村文彦：山体崩壊による津波の規模推定ー有珠山への適用ー、航空機および人工衛星搭載センサーによる火山噴火観測について、噴火災害観測データ検討グループ、通信総合研究所・地球科学技術推進機構、pp. 93-99, 2000.

34. 今村文彦：津波災害とシミュレーション、計算工学学会誌、Vol. 6., No. 3, pp. 311-315, 2001

35. 今村文彦：津波の解析と可視化ー過去・未来を知るために、特集：コンピューターグラフィックスの活用、土木学会誌、7月号、pp. 5-7, 2002.

36. 今村文彦：津波の予測と住民の避難システムをつくる、AERA BOOK「地震がよくわかる」、朝日新聞社、pp. 55-57, 2002.

37. 今村文彦：防災における情報化ー被害を最小限に抑える情報、港湾 特集：みなとの防災、Vol. 80, pp. 32-33, 2003.

38. 今村文彦：なぜ津波は恐いのか？、セフティ、仙台市防災安全協会、3月15号、pp. 2-7,

2003.

39. 今村文彦：津波について一被害軽減とシミュレーション，月刊地震レポート SEISMO，地震調査研究推進本部レポート，Vol. 7, No. 6, pp. 2-5, 2003 年
40. 今村文彦：最後の巨大津波から 40 年，大津波，北海道に来る，AERA, No. 28, 40p., 2003 年
41. 今村文彦：三陸沿岸で動き始めた「津波防災最前線」，Bleu Vague, 国交省東北整備局港湾空港部，Vol. 6, pp. 16-19, 2003
42. 今村文彦：重点計画における防災対策の今後のあり方につて，社会資本重点整備計画と防災対策，港湾，Vol. 12, pp. 36-37, 2003
43. 今村文彦：2003 年 9 月 26 日十勝沖地震津波の発生と残された教訓，月刊消防，Vol. 26 No. 1, pp. 13-17, 2004
44. 今村文彦・高橋智幸：2003 年 9 月 26 日十勝沖地震津波の発生と残された教訓，消防科学総合センター，Vol. 75 No. 1, pp. 7-20, 2004
45. 今村文彦：災害と情報（巻頭言），月刊建設，3 月号，pp. 3-4, 2004
46. 今村文彦：潜在的災害をどのように認識するか？データベースの防災への利用，波となぎさ，pp. 4-5, 2004
47. 今村文彦：津波(TSUNAMI)被害の過去・現在と対策の展望，みやぎ「政策の風」, No. 1. pp. 27-26, 2004
48. 今村文彦：津波情報とその活用について，予防時報，218, pp. 8-12, 2004.
49. 今村文彦：特集「自然防災研究」，Science & technology Journal, 科学技術振興機構，第 1 3 卷 9 号，pp. 10-17, 2004.
50. 今村文彦・安倍祥・牛山素行：住民参加による津波対策の取り組み，河川，Vol. 60, No. 10, pp. 39-45, 2004
51. 今村文彦：津波ハザードマップの最先端一災害情報との融合一，巻頭論文，消防防災，Vol. 1. No. 4, pp. 2-12, 2004
52. Imamura, F: Tsunami counter-measures in Japan; could people evacuate after receiving a warning ?, Marine Habitats, KNOW RISK, International Strategy for Disaster Reduction, United Nation, Tutor Rose Pub., pp. 222-223, 2005.
53. 今村文彦・越村俊一・河田恵昭：スマトラ津波被害（インド洋大津波）三陸津波以来の我が国の津波防災対策への期待，事故・災害ミニ特集，土木学会誌，vol. 90, no. 2., pp. 5-7, 2005
54. 今村文彦：津波の脅威に目を，世界，岩波書店，No. 737, pp. 191-194, 2005
55. 今村文彦：津波から命をまもるためには，知識・行動・継続，文部科学時報第 3 号特集 阪神・淡路大震災から 10 年，特集記事エッセイ pp. 14-15, 2005
56. 今村文彦：津波に強い社会を，JICA フロンティア 3 月号・Compass, p. 3, 2005
57. 今村文彦：スマトラ沖大地震及びインド洋津波災害 現地調査報告，月刊消防 vol. 27, No. 4, pp. 17-24, 2005.
58. 今村文彦：インド洋大津波の被害とそこからの教訓- 現地調査と映像から分かってきたこと，

基調論文 2, 港湾, vol. 82, pp. 12-14, 2005

59. 今村文彦：スマトラ沖大地震及びインド洋津波災害と現地調査報告，巻頭論文，消防防災，12号，pp. 2-10, 2005.
60. 今村文彦：スマトラ島沖巨大地震・インド洋津波の発生状況と今後の課題，近代消防, Vol. 530, 5月号，pp. 17-21, 2005
61. 今村文彦：2004年インド洋津波の被害と我が国の貢献と課題，特集 自然災害，学術の動向, Vol. 10, No. 6, pp. 52-57, 2005.
62. 今村文彦：津波被害とその対策，（財）建築保全センター 機関紙「Re」, pp. 38-41, 2005
63. 今村文彦：津波被害を調査・シミュレーションし巨大な被害から人々を守るシステムを構築，大学の最先端研究，蛍雪時代 9月号，pp. 104-107, 2005
64. 今村文彦：目の前に迫っている津波から避難できない理由，東北大学出版 会報「宙（おおぞら）」, No. 17号，pp. 8-9, 2005
65. 今村文彦：津波研究の最前線，震災予防，（財）震災予防協会，No. 224, pp. 13-16, 2005.
66. 今村文彦・柳澤英明：津波減災のための植生帯の利用，公園緑地，Vol. 66, No. 4, pp. 12-17, 2005
67. 今村文彦・高嶋哲夫：再び警鐘！ クライシス対談，知られざる津波の脅威！，生き延びるために今すべきこと，小説すばる，1月号，pp. 140-149, 2005
68. 今村文彦：津波による災害と復興 奥尻島とインド洋津波スマトラ・バンダアチェの例を交えて，Ship & Ocean Newsletter, No. 20, pp. 4-5, 2005
69. 今村文彦ら：あらためて思う 防災の大切さ，安全・安心な社会の構築に向けて一地震・津波防災対策の推進，国土交通，Vol. 59, No. 1, pp. 12-17, 2006
70. 今村文彦：スマトラ沖地震及びインド洋大津波を振り返って，はまべ交信，全国漁港海岸防災協会，No. 14, pp. 12-17, 2006
71. 今村文彦：マトラ沖地震及びインド洋大津波から1年一津波被害からの復興と我が国への教訓一，消防防災，Vol. 5, No. 1, pp. 2-10, 2006
72. 今村文彦：今，沿岸防災に求められていること，波となぎさ，No. 167, pp. 2-4, 2006
73. 今村文彦：明和8年八重山地震津波(1771)八重山地震津波と数値解析一巨大な津波石も移動一，SEISMO, Vol. 10, No. 6, pp. 10-11, 2006
74. 今村文彦・越村俊一・大家隆行，津波による人的被害の推定一2004年インド洋大津波のバンダアチェでの事例一，月刊消防，No. 8. Vol. 28, pp. 11-15, 2006
75. 後藤和久・S. Chavanich・今村文彦・P. Kunchasa・松井孝典・箕浦幸治・菅原大助・柳澤英明，2004年インド洋大津波によって運搬された”津波石”の起源，堆積物から紐解く自然災害，月刊地球，Vol. 28, No. 8, pp. 553-557, 2006
76. 福田裕司・後藤和久・今村文彦，津波による土砂移動の水理実験と数値解析の現状，堆積物から紐解く自然災害，月刊地球，Vol. 28, No. 8, pp. 563-567, 2006
77. 今村文彦，10の非常事態別 最新マニュアル，津波，ニューズウィーク日本版，p. 45, 2006

78. 今村文彦, 津波シミュレーションの現状と今後, JACIC 情報, No. 84, pp. 29-34, 2007
79. 今村文彦, ジャワ島における津波被害について, 消防防災, vol. 6, no. 1, No. 19, pp. 52-59, 2007

学会賞

1. (1996)平成8年1月18日 日本雪工学会賞 学術奨励賞 「流雪溝の閉塞条件と送雪能力に関する基礎研究」, 今村文彦
2. (1997)平成9年11月27日 CVC(Computer Visualization Contest)入賞、日経サイエンス主催 「K/T-impact による津波の発生・伝播シミュレーション」
3. (1999)平成11年10月15日、日本自然災害学会学術賞、「津波監視システムの現状と広域ネットワークの提案」, 今村文彦
4. (2000)平成12年11月7日、土木学会, The 1999 Coastal Engineering Journal Award, 「Propagation of Obliquely Incident Tsunamis on a Slope Part II: Characteristics of on-ridge Tsunamis」
5. (2001)平成13年9月29日, 日経サイエンス, ビジュアル・サイエンス・フェスタ・最優秀賞, 「1771年明和津波の再現計算—巨大津波石の移動の謎を探る—」, 今村文彦・上野弘道・河名俊男・喜屋武臣市
6. (2003)平成15年11月20日, European Commission for Research, The finalist of The 2003 Descartes Prize Awards, 津波の解明— 欧州での沿岸域を守るために Tsunami hazard assessment and mitigation studies (THAMS), European research
7. (2004)平成16年8月, JFN 賞優秀賞ジャパンFMネットワーク, 防災ラジオ番組「Sunday Morning Wave」, FM仙台 (高橋英彦, 板橋恵子, 今村文彦)
8. (2006)平成18年3月22日, NHK 東北ふるさと賞, 平成17年度 (第23回)
9. (2006)平成18年3月23日, 工学研究科長教育賞, 東北大学大学院工学研究科, 地震津波による大災害軽減研究のための国際教育プログラム展開
10. (2006)平成18年5月16日, 土木学会東北支部技術開発賞, 沖合い津波観測による宮城県沖を想定した減災シナリオに関する基礎的検討, 阿部郁男・今村文彦
11. (2006)平成18年11月17日, 土木学会海岸工学論文賞, 2004年インド洋大津波によるバンダ・アチェ市街地の津波氾濫解析と被害評価, 大家隆行, 越村俊一, 柳澤英明, 今村文彦
- 12.



研究室での賞

土木学会東北支部論文奨励賞

平成7年 越村俊一（当時D1）

平成12年 橋和正（当時M2）

平成15年 早川哲史（当時M2）

平成15年 牛山素行（講師） 日本自然災害学会学術賞

平成16年8月 FM仙台 JFN賞優秀賞ジャパンFMネットワーク

平成17年11月 外谷滋比古（当時M1），土木学会年次講演会優秀発表賞

平成18年1月 首藤伸夫，河北文化賞

平成18年5月 首藤伸夫，土木学会功績賞

平成18年5月 阿部郁男，土木学会東北支部技術開発賞

学生の発表等

特許

津波被害推定システム（2000年10月11日申請）

識別番号 100088041

特許願 KK00804B 50001315031 特願 2000-310690

特許第3554926号

平成16年5月21日

<その他>

1. 津波工学研究報告、技術優秀認定、（社）日本グラフィックサービス工業会、シャグラ作品展
優秀認定、担当：（有）明倫社、平成10年7月2日

<補助金>

平成元年 財団法人建設工学研究振興会 奨励研究

平成2年 土木学会学术交流基金助成（43万円）

委員

今村文彦

1. 土木学会、大学土木教育委員（1992-1993 平成4-5）
2. 日本雪工学会、学術委員会委員総務幹事(1996-平成8-)
3. 土木学会、海岸工学委員会研究レビュー小委員会委員（1995-1996 平成7-8）
4. 土木学会、論文集査読委員(1997-平成9)
5. 土木学会、海岸工学委員会地球問題研究小委員会副委員長、1998年4月-2000年6月 平成10年-平成12年
6. 土木学会、原子力土木委員会津波評価部会委員(1999.10-2002.3.)平成11年10月
7. 日本自然災害学会、学会誌・企画委員(1999.10-)平成11年10月
8. 土木学会、海岸工学委員会委員, 幹事（2002.4.-
9. 日本自然災害学会、理事・評議員 平成14年4月1日から平成17年3月31日
10. 日本地震学会、代議委員, 2002.5-
11. International Society for the Prevention and Mitigation of Natural Hazards, council member, 2002.10-
12. IUGG (International Union of Geodesy and Geophysics), Tsunami committee, secretary (July 2002-July 2006)
13. 土木学会、地震工学委員会・海岸工学委員会委員合同小委員会, 津波被害推定ならびに軽減技術研究小委員会, 小委員長, 平成15年10月から平成17年9月
14. 土木学会、巨大災害への対応検討委員会特別委員会（平成15年10月から）
15. 土木学会、スマトラ島沖地震・インド洋津波災害調査特別委員会委員長（平成16年1月から）
16. 日本自然災害学会、副会長, 平成17年6月1日から

学術雑誌関係

今村文彦

1. 土木学会、海岸工学論文集編集小委員会(1997-) 平成9年
2. 土木学会、会誌編集委員(1998-2000) 平成10年-12年
3. 日本自然災害学会、学会誌・企画委員(1999.7-2001.3) 平成11年-
4. ASCE (米国土木学会) 論文査読委員 (2005.4.1-)
- 5.

社会的活動

今村文彦

1. (財)地震予知総合振興会プレート間地震作業部会委員(1991-1993)平成3年-5年
2. (財)都市防災研究所、アジア地域における防災協力のあり方に関する研究委員会委員(1996-1998)平成8年

3. (財) 沿岸開発技術研究センター、津波・高潮防災研究会委員、(1997-)平成9年
4. 科技厅、振興調整費「日本海東縁部における地震発生ポテンシャル評価に関する総合研究」研究推進委員(1998-)平成10年10月
5. 科技厅、「日本海東縁部における地震発生ポテンシャル評価に関する総合研究」委員会津波危険度評価分科会委員(1998-1999)
6. (財) 沿岸開発技術研究センター、パプアニューギニア型津波対策基礎調査に関する委員会委員、(1999-)平成11年10月
7. 土木学会、原子力土木委員会、津波評価部会(1999.12-)平成11年12月-平成13年3月
8. 伊東市市史編纂委員会・専門委員(2000-)平成12年4月
9. 日本学術会議社会環境工学連絡委員(平成12年11月20日から平成15年10月20日まで)
10. (財) 亜熱帯総合研究所、チリ津波研究委員会、委員(平成13年2月から平成13年3月まで)
11. 防災情報機構NPO 法人参与・評議委員(平成13年4月から)
12. 日本防災学院教授(平成13年4月から現在)
13. 国立歴史民俗博物館共同研究員(平成13年4月から現在)
14. 日本学術会議海洋物理学連絡委員会津波小委員会 委員長(平成13年4月27日から)
15. 経済産業省原子力安全・保安院、総合資源エネルギー調査会地盤耐震評価WG委員(平成13年6月8日から平成15年6月7日)、総合資源エネルギー調査会臨時委員(継続、平成15年6月から)
16. 国土交通省旧北上川河口部整備委員会委員
17. 仙台市地域防災会議地震災害対策専門部会委員(平成13年8月7日から平成14年日)
18. (財) 都市防災研究所、消防庁津波対策推進マニュアル検討委員会委員(H13.7.10-H14.3.31)
19. 内閣府、中央防災会議東南海・南海地震等に関する専門調査会(H13.10.3 - 現在)
20. (財) 沿岸開発技術研究センター、長周期波対策検討委員会、平成13年10月から平成15年3月20日まで
21. 文部科学省科学技術振興調整費「都市複合空間水害の総合減災システムの開発」研究推進委員
22. (財) 都市防災研究所、津波観測装置の設置ガイドライン検討委員会、平成13年11月1日から平成14年3月29日まで
23. 宮城県三陸南沿岸懇談会委員(平成13年から)
24. 国立歴史民俗博物館展示プロジェクト委員、平成14年4月1日から15年9月30日
25. 宮城県防災会議 地震対策専門部会委員、平成14年8月から現在
26. (財) 沿岸開発技術研究センター、釜石港津波防波堤機能効果検討委員会委員長、平成13年10月から平成14年3月20日まで
27. 宮城県、宮城県津波対策連絡協議会、会長、平成14年10月から
28. 国土交通省、高潮・津波ハザードマップ研究会、委員、平成14年11月から
29. 国土交通省、高潮・津波ハザードマップ研究会データベース部会、座長、平成14年11月から

30. 国土交通省東北地方整備局，東北地方整備局事業評価監視委員会委員，平成15年4月1日～現在
31. 国土交通省東北地方整備局，北上川・鳴瀬川津波解析検討業務評価委員会，委員長，平成15年8月5日～平成15年10月10日
32. 三重県
33. 内閣府中央防災会議，日本海溝・千島海溝周辺海溝型地震に関する専門調査会（H15.10～現在）
34. 岩手県，地震・津波シミュレーション及び被害想定調査業務委託選定委員会，委員長（平成15年9月10日），
35. 日本気象協会，緊急防災情報に関する調査委員会委員長（平成15年10月31日）
36. 消防庁，防災・危機管理教育用eラーニング開発に関わる教材作成委員会委員（平成15年10月14日）
37. 日本学術会議社会環境工学研究連絡委員会委員（平成15年10月21日から平成18年10月20日）
38. 日本学術振興会，科学研究費委員会専門委員（平成16年1月1日から平成16年12月31日）
39. 国土交通省東北地方整備局，三陸南部地域地震津波に対する防災計画検討調査委員会（平成15年11月1日から平成16年3月31日）
40. 国土交通省東北地方整備局，道路管理における震後対応能力向上の基本方針に関する検討委員会委員長（平成15年11月1日から平成16年3月31日）
41. 国土交通省海岸防災課（沿岸開発センター），新たな津波防災検討委員会委員，（平成16年3月から）
42. 沿岸開発センター，沿岸技術研究諮問委員会委員（平成16年6月から）
43. 国土交通省中部地方整備局，港湾施設大規模地震対策委員会委員（平成16年10月から平成17年3月31日）
44. 国土交通省東北地方運輸局，災害発生時の緊急輸送ネットワーク確保のための調査検討委員会委員長（平成16年10月から平成17年3月31日）
45. 消防庁，防災のための図記号に関する調査検討委員会（平成16年11月から平成17年3月）
46. 国土交通省，津波対策検討委員会委員（平成17年2月から平成17年3月）
47. 国土交通省交通政策審議会港湾分科会安全・維持管理部会 委員（平成17年2月から平成17年3月）
48. 内閣府中央防災会議，中山間地等の集落散在地域における地震防災対策に関する検討会，（平成17年6月から現在）
49. 国土交通省国土審議会計画部会委員・専門委員（平成17年10月24日から）
50. 茨城県 沿岸津波浸水想定検討委員会副委員長（平成17年12月9日より平成18年9月30日）
51. （社）日本港湾協会，東北における沖合津波観測情報を活用した津波軽減対策検討委員会・委員（平成18年1月より）
52. （財）沿岸研究センター，東北における沖合津波（波浪）観測網の構築検討委員会・委員（平成

18年1月より)

53. 日本学術会議連携会員 (平成18年4月より現在)
54. (独) 原子力安全基盤機構, PSA 検討会・外的事象 PSA 分科会委員 (平成18年4月7日より)
55. (財) 沿岸研究センター理事. 平成18年5月22日から平成19年10月23日.
56. 国土交通省東北整備局, 日本海溝・千島海溝周辺型地震対策東北地区連絡協議会・アドバイザー (平成19年2月から)
57. 独立行政法人港湾空港研究所, 津波災害プロセスの把握とシミュレーションによる再現に関する研究, アドバイザリー委員 (平成19年3月1日から平成21年2月末日)
58. 文科省地震調査研究推進本部地震調査委員会委員 (平成19年3月13日から平成21年3月12日まで)
59. 経済産業省総合資源エネルギー調査会原子力安全・保安部会耐震・構造設計小委員会委員 (平成19年4月から)
60. 文科省研究開発局防災教育支援に関する懇談会委員 (平成17年4月17日)
61. 国土交通省東北整備局東北圏法域地方計画懇談会委員 (平成19年6月8日平成20年度末)
- 62.

<学会>

土木学会

地震学会

日本自然災害学会

日本雪工学会

Int. Tsunami Society

American Geophysical Union

<来訪者>一ヶ月以上

1. 1991年7月1日-7月31日, Dr.Sung Bum Yoon, Cornell University, US, TIME project 客員研究員
2. 1995/10/15-11/26, Mr. Gegar S. Prasetya, LPTP-BPP Teknologi, Indonesia, TIME project 客員研究員
3. 1996/10/1-1997/3/30, Mr.Nur Adi Kristanto, Marine Geological Institute, Indonesia, TIME-project. 客員研究員
4. 1997/10/1-1997/11/2, Prof.Harry Yeh, Univ of Washington, 京大客員教授
5. 1999/3/10-2000/3/8, Dr.Andrew Moore, Univ.Washington, 外国人特別研究員、学振とNSF
6. 1999/6/14-9/11, Dr.Nanang, T., Puspito, Bandung Institute of Technology, インドネシア、日立学術奨学金、客員研究員
7. Ms.Stefanie Betz, Karlsruhe Univ., Germany, 16 July-31 August 2001, IAESTE
8. Ms.Chang, Lianna HingLing, University of California, Davis, 10 April - 15 August 2002 留学生短期プログラム.
9. Mr.Jin So-Boem, Korea Nuclear Safety Agency, 1 July - 31 August 2002. 学術振興会博士論文プログラム
10. Mr.Juan J. Horrillo, Institute of Marine Science, Univ. Alaska Fairbanks, 11 June- 31 August 2003, 最先端分野学生交流推進制度.
11. Mr.Jin So-Boem, Korea Nuclear Safety Agency, 2 July - 31 August 2003. 学術振興会博士論文プログラム
12. Mr.Jin So-Boem, Korea Nuclear Safety Agency, 1 October - 30 November 2004. 学術振興会博士論文プログラム
13. Dr.Anat Ruangrassamee, Chulalongkorn 大学, 宮城県海外技術研修, 25 June 2005-30 July 2005
14. Dr.Tennakoon Mudiyansele Nimal Wijayarathna, Ruhuna 大学, 宮城県海外技術研修, 25 June 2005- 6 August 2005
15. Mr.Jin So-Boem, Korea Nuclear Safety Agency, 3 Nov - 31 December 2005. 学術振興会博士論文プログラム
16. Mr. Abdul Muhari, Deputy Director on Coastal Disaster Mitigation, Ministry of Marine Affairs and Fisheries, 2006.7.1-8.31
17. Mr. Harsha H R RATNASOORIYA,, University of Moratuwa, Sri Lanka, 2006.7.1-8.31
18. Mr. Mongkorn Srivichai, Ransit University, Thailand, 2006.7.5-12.31
19. Mr. Phuweng PRAKHAMINTARA, Department of Meteorology, Thailand, 2007.6.4-2007.8.31
20. Ms. Zaty Aktar bt Hj Mokhtar □□Department of Meteorology, Malaysia, 2007.6.4-2007.8.31
- 21.

<来訪者>一ヶ月以下

1. GUTIERRES Carlos A. M.、メキシコ地震研究所, 1998/6/20
2. BORRERO Jose, University of Southern California, 1998/7/15
3. Prof.Brian Atwater, Univ. Washington and USGS, 1999/2/10
4. Mr.Widjo Kongko,BPPT, Indonesia, 1999/2/12
5. Mr. Augusto Ronald Cenidoza Pigtain and Mr. Richard P. Lasala, PHILVOCS, 1999/11/22-26
6. Ms.Velly Asvaliantina, BPPT, Indonesia, 2000/1/24
7. Dr.Lee Ho JUN, 韓国国立防災研究所, 00.9.11
8. Mr.Jin Sobem、韓国原子力安全研究院, 00.9.11
9. Prof.Terry Healy , Waikato University, 00.9.19
10. Mr.Lee Haegyun, 韓国電力公社, 00.10.23
11. Prof.Hugh Davies, Univ. Papua New Guinea, 00.10.24
12. Prof. Byung Ho Choi, Sung Kyun Kwan University, Korea, 01.1.26
13. Dr.Suh, Kyung Suk and Dr.Kim, Eun Han, Korea Atomic Energy Research Institute, Korea, 03.7.22
14. Prof.N.Jothi Shankar, The National University of Singapore, Singapore, 03.10.21
15. MS. Siwattra Tiangrojrat, Nation Channel (TTV1), THAILAND, 05.10.19
16. Prof.Terry Healy, Univ. of Waikato, New Zealand, 05.11.5.05
17. Mr.Muzailin, Syaku Hala University, Indonesia, 05.11.21-12.1
18. Ecole CentraleINSA-Lyon 訪問団,060303
19. Dr.Latief Hamzah, Bandung Institute of Technology, 060309
20. Prof. Magnus Larson, Department of Water Resources Engineering, Lund University, 2006.6.14
21. Dr.R.K.Chadha, National Geophysical Res. Instiute, India, 2006.8.7
22. Dr.Masimin, Civil Eng., Syiah Kuala Univ.,Indonesia, 2006.8.7
23. Dr.Amjad Abdulla, Ministry of Environment and construction, Maldives, 2006.8.7
24. Dr.T.M.Nimal, W., Civil and Environmental Eng, Univ. of Ruhuna, Sri Lanka, 2006.8.7
25. Dr.Absornsuda Siripong, Dept of Marine Science, Chulalongkorn Univ., Thailand ,2006.8.7
26. Ms. Lugkana Sirivarna, writer of Magazine and newspaper, Thailand, 2006.8.7
27. Dr.Giovanni Cuomo, Univ. of Roma, Italy, 2006.8.7
28. Ms. Ying-chun Liu, Graduate University of Chinese Academy of Science,2006.10.10-20.
29. Prof. Dave Yuen,Dept of Geology and Geophysics, Univ. of Minnesota,USA, 2006.10.18
30. Prof.Yong-Sik Cho, Dept of Civil Eng., Hanyang University 漢陽大学,2007.1.10
- 31.

特別研究員等

1. 松山昌史, 受託研究員, 電力中央研究所, (平成元年4月-平成2年3月)
2. プシピト, ナナン, 客員研究員, 日立学術奨学金 (平成11年6月から9月)
3. 越村俊一, 日本学術振興会特別研究員 (平成10年4月-12年3月)
4. 原田賢治, 日本学術振興会特別研究員 (平成13年4月-15年3月)
5. アンドリュームーア, 日本学術振興会外国人特別研究員 (平成11年3月-13年2月)
6. 阿部郁男, 民間等との共同研究, 共同研究員 (平成14年4月-) 日立東北ソフトウェア株式会社
7. 井元修司, 民間等との共同研究, 共同研究員 (平成12年4月-), 株式会社ウエザーニューズ
8. 渡辺まりこ, 民間等との共同研究, 共同研究員 (平成16年9月-) 日立東北ソフトウェア株式会社
9. 藤井直樹, 民間等との共同研究, 共同研究員 (平成16年10月-) 東電設計株式会社
10. 源 大樹, 民間等との共同研究, 共同研究員 (平成17年5月-) 国土防災技術 (株)

センター見学者 その他

1. 平成8年度 宮城県漁協婦人連合協議会 (40名) (12月26日)
2. 平成9年1月16日アジア環太平洋学長会議 テレコン (テレビコンファレンス)
3. The Sixth Asian and Pacific University Presidents` Conference, 13-15 January 1997, Honolulu, Hawaii, テレビ会議
4. 平成13年3月8日, 宮城県消防協会本吉支部, 15名
5. 平成13年10月30日, 岩手県葛巻高校 高校生, 40名
6. 平成13年, (財)地震予知総合研究振興会, 中学生向, 地震と火山活動のメカニズム CD-R0 制作協力
7. 平成16年7月25日から8月24日, 愛媛県立博物館 学芸係, 特別展示「地震」
8. 平成17年10月10日 東北大学土木同窓会 (20名)
9. 平成17年11月21日 山形県西川町立西川中学校 (12名)
10. 平成17年11月24日 東北インターナショナルスクール (12名)
11. 平成18年3月2日 Ecole CentraleINSA-Lyon (5名)

